

## 有資格者/ Licensed professionals

### 技術士

[応用理学] 地質	4名
[建設] 河川、砂防及び海岸・海洋	1名
[建設] 道路	1名
[建設] 土質及び基礎	1名
総合技術監理（応用理学・地質）	1名

### その他

測量士	5名
一級土木施工管理技士	2名
一級さく井技能士	2名
地質調査技士	6名
地質情報管理士	3名
環境計量士(濃度)	1名
土壌汚染調査技術管理者	1名
地すべり防止工事士	2名

### RCCM

河川、砂防及び海岸・海洋	2名
道路	1名
森林土木	1名
地質	1名
土質および基礎	3名
鋼構造及びコンクリート	1名
建設環境	1名



Ver1.1

# UNICON

まずは地球を知るところから



公式webサイト  
<https://unioncons.co.jp/>

株式会社ユニオン・コンサルタント

Union Geological engineering consultants Co.,LTD.

## あいさつ / Message

当社は1973年(昭和48年)に地質調査・資源調査をメインとした地質総合コンサルタントとして創業いたしました。おかげさまで2023年(令和5年)には創業50周年を迎えることができました。

創業当時から北海道の地盤に精通した技術者を揃え「よりよい調査で住みよい国土」をモットーに高い技術力を備えたコンサルタントとして歩んでまいりました。その後の社会環境変化や顧客ニーズへの対応に応えるために、業務範囲を環境調査や土木設計にも拡大し、現在に至っております。

21世紀に入ると、我が国においては大きく社会情勢は変化して、経済成長に順応した国土開発事業から、自然環境に配慮し、精神的快適性を求められる事業への転換がなされました。

その一方で、地球温暖化現象が一端とも考えられる多発する豪雨災害、地盤の脆弱性が問われる我が国ならではの地震災害での早急な対応が求められています。また、新たなエネルギー資源の確保問題についても避けて通れません。

当社がある北海道は、雄大な自然と豊かな大地の恵みを考慮したときに、より重要性が高まることが期待されます。当社は自然現象・社会情勢のニーズにしっかりと適応し、誠実性を持った建設コンサルタントとして、活動に取り組んでゆく所存であります。



代表取締役社長 渡辺 均

## 会社概要 / Company overview

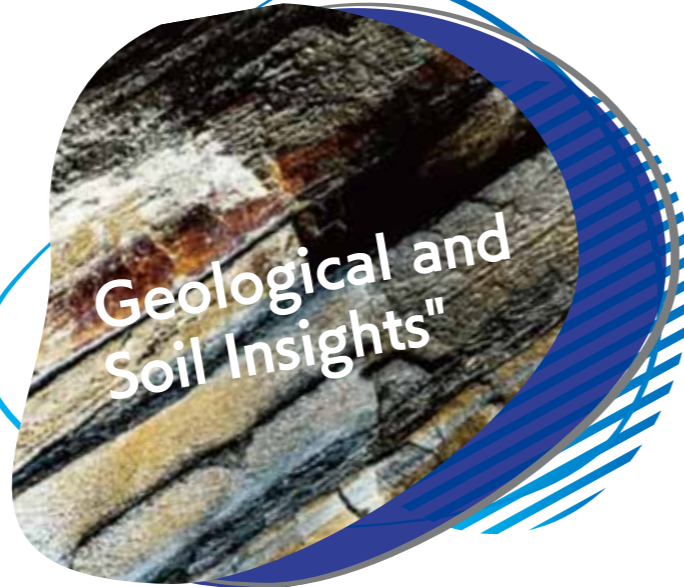
### 株式会社ユニオン・コンサルタント

設 立	昭和48年(1973年)12月19日
創 業	昭和49年(1974年)4月
資 本 金	2,300万円
所 在 地	〒001-0045 札幌市北区麻生町7丁目3-12
TEL/FAX	TEL 011-746-8281 FAX 011-746-8284
代 表 者 名	代表取締役社長 渡辺均
登 録・許 可	建設コンサルタント 建06-1613号 ・地質部門・土質及び基礎部門・河川、砂防及び海岸・海洋部門 地質調査業 質04-78号 測量業 第(12)-6039号 建設業北海道知事許可(般-7)石第05671号 さく井工事 土壤汚染対策法に基づく指定調査機関 2003-01000-3001 ISO 9001:2015(JIS Q 9001:2015登録)



# 地質・土質調査解析部門

地質調査は地球の健康診断



この部門は社会を支えるインフラストラクチャーの基盤を調査しています。道路や橋、ダム、建物などを造る前に地質調査をして基礎地盤の種類や性質、特性などを正確に判断することが主な業務です。実際には直接目に見えない部分を探るため、調査内容を裏付けるために地形図・空中写真等の判読に基づいて、現地の地形判読をしてから業務に臨みます。ボーリング調査の現場では採取された土・岩盤試料(コア)を原位置での物性値と併せてリアルタイムで観察・報告をし、調査対象の特性や地盤状況に応じた十分な調査をします。時にはボーリング調査中に問題点や不足点が発覚することがあるため、迅速に他アプローチ(原位置試験・土質試験)を提案・実施をして設計・施工に問題が生じないように調査を進めます。地質調査は、安心・安全なインフラ整備につながる重要な業務です。どんな調査でも、人々の生活の下支えに直結するため、責任感を持って日々取り組んでいます。



地質(岩盤)調査



土質調査



液状化、軟弱地盤解析



原位置試験



港湾地盤調査



トンネル先進ボーリング



室内試験(土質・岩石)



各種物理探査、検層



地下水観測



地表地質踏査

地表踏査 / ボーリング調査 / 土質試験・岩石試験 / 物理探査 / 地質解析



地球も人間も、最も大切なのは「水」



さく井とは、主に温泉や井戸の掘削をさす言葉です。弊社では地下水を利用するためのボーリング調査や実際の井戸掘削を手がけ、さらにポンプ等の揚水設備を設置する工事等を手がけております。通常の地質調査のボーリングとは異なり、利用用途に適した口径を選定し、地層の水通しの良さなどを検討したうえで井戸として仕上げます。また、事前に既往の文献や近傍のデータなどから、地下水開発の可能性や井戸深度などを検討し、適切な仕上げ方法の御提案・施工を行ってまいります。農業用水や飲用、近年では地下水を利用した融雪用の井戸や融雪槽の施工までを行っております。また、弊社では、既存井戸や揚水設備の不調の際に、原因調査・点検やポンプの交換・メンテナンスのほか水質検査なども行っております。地球も人間も「水」なしには保つことができません。水資源調査は、国土を将来にわたって存続させるための根幹なのです。



井戸掘削工事



温泉開発



井戸メンテナンス工事



水文調査



地下水調査

井戸掘削工事 / 井戸メンテナンス工事 / 温泉開発 / 地下水調査 / 水文調査



目指すのは、  
安心が続く社会基盤。

# 設計・対策計画業務部門



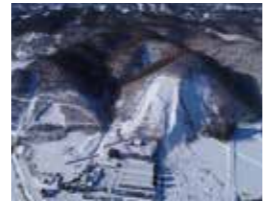
私たちは、土木設計エンジニアとして確かな技術で、地域の安全と暮らしを守ることを使命としています。設計・対策計画部門は、積雪寒冷など北海道特有の気象・地質条件を踏まえ、地質技術力を核に公共インフラ価値を最大化する“社会資本の設計者”です。測量・地質から道路・河川・法面・治山に至るまで一貫して社会が必要とする最適解を提示します。斜面防災設計では、地質調査に基づくリスク評価と安定検討に強みを持ち、的確な対策工を計画します。あわせて、道路・防災構造物の設計を主領域とし、地域のインフラ更新・長寿命化に貢献しています。河川・砂防/治山分野では、溪流保全工、治山ダム設計、施設の健全度評価、土砂災害対策計画まで幅広く対応。さらに道路・交通改良では、交差点改良や歩行者空間整備を通じて、安全性と利便性の向上を目指しています。北海道の厳しい自然と向き合い、次の世代に引き継ぐべき安全で強靱な国土を守ります。



普通河川の沈砂池整備



高盛土擁壁の改築



大規模地震の災害復旧



都市急河川の護岸整備



谷地盛土上の擁壁改修

# 地すべり・地盤防災部門

リスクを見逃さない  
一貫した調査力！



最近、各地で豪雨による地盤災害が多くなっています。この部門は地すべりや斜面崩壊、土砂崩れについて調査を行ってリスクを評価し、対策を検討します。現場は急斜面であることが多く、資機材搬入はモノレールを設置して行うことが多いです。調査は高品質ボーリングにより破碎の程度や変質、風化の程度、粘土化部を詳細に観察することを軸とし、これら特徴を見逃さないよう調査をします。地すべり調査は地下水の動きが重要であるため、ボーリング孔を利用して地下水流動を把握する試験を実施します。また、地中内部の変動を観測できる計測器や地下水位の変化を観測するセンサーを設置して定期的に観測することも重要です。これにより月～年単位で変動値を観測し、累積性の有無を確認しています。弊社では調査・設置・観測・解析作業を一貫して実施し、国土保全や安全・安心な社会の実現に寄与します。



地すべり調査・観測



動態観測



道路防災調査



砂防、急傾斜地対策調査

道路・構造物設計 / 森林土木施設設計 / 河川護岸・構造物設計 / 軟弱地盤対策設計 / 道路防災設計 / 地すべり対策設計

地表踏査 / ボーリング調査、土質試験・岩石試験、物理探査、地質解析

# ドローン調査・測量業務部門

激甚化する自然災害  
ドローンは不可欠!

## Drone Survey and Mapping Department

ドローンを活用した測量・調査業務では、UAVレーザ測量(LiDAR)や写真測量、動画撮影を用い、広範囲かつ複雑な地形や構造物のデータを高精度で取得。迅速で正確な3Dモデルを作成することが出来、従来の測量に比べ危険箇所やアクセス困難な地域でも安全に測量を実施可能となりました。

技術面では、LiDARや写真測量による高精度地形モデルを作成し、UAV写真測量マニュアルに準拠した解析を行います。さらに、自動飛行プログラムやAIによるデータ解析を活用することで、リアルタイムで地形変化を把握することが可能です。災害時には、ドローンによる迅速な地形情報収集が復旧計画の基盤となり、安全で効率的な国土整備を支える重要な手段となっています。土木分野におけるドローンの活用は、社会的に大きな意義を持っています。



UAVレーザ測量、解析



UAV写真測量・解析



UAV写真・動画撮影



用地測量



地形・路線測量



山腹・溪間測量

UAVレーザ測量・解析 / UAV写真測量・解析 / UAV写真・動画撮影 / 用地測量 / 地形・路線測量 / 山腹・溪間測量 用地測量

## Environmental Survey & Maintenance

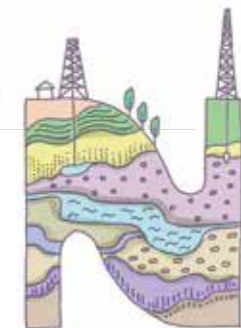
確かな調査力で  
環境インフラを維持

当部門は、環境リスクの見える化と社会インフラの健全化を一体で担っています。

①土壌汚染調査では、地質調査と併せてVOCs・油分等を評価。②重金属分析は、土壌・地質・河川底質の安全性を精査します。③地中レーザ探査により、埋設物や空洞を非破壊で把握し、道路・堤防などの維持管理に活用。④水質調査は、河川・地下水の化学分析や微量成分のモニタリングを実施。⑤自然環境調査では、動植物・生態系への影響を評価し、保全・再生策を提案します。さらに、⑥橋梁点検、⑦道路防災点検で劣化・変状・災害リスクを診断。調査—評価—対策立案—モニタリングまで一貫対応し、確かな調査で維持管理と環境配慮型のインフラ更新を支援しています。



魚道調査



河川環境調査



地中レーザ(防空壕調査)



夜間橋梁点検(鉄道上)



河川・湖沼環境調査

土壌汚染対策 / 環境調査 / 構造物点検 / メンテナンス

# 環境調査・点検維持管理部門

# 沿革 / Corporate History

- 1973年(昭和48年)12月 設立 資本金 500万円
- 1974年(昭和49年)1月 建設コンサルタント業 登録
  - 同年3月 測量業 登録
  - 同年4月 創業
  - 同年4月 齋藤昌之 代表取締役に就任
  - 同年4月 本社移転 札幌市北区北13条西3丁目 十三条ビル
- 1977年(昭和52年)11月 地質調査業 登録
- 1978年(昭和53年)9月 資本金1,000万円に増資
- 1985年(昭和60年)3月 建設業(さく井) 登録
- 1986年(昭和61年)11月 資本金1,500万円に増資
- 1987年(昭和62年)4月 株式会社朔ボーリング 設立
- 1988年(昭和63年)1月 有限会社石狩地工 設立
- 1988年(昭和63年)7月 資本金2,300万円に増資
- 1989年(平成元年)8月 本社移転 札幌市北区麻生町7丁目3番12号
- 2000年(平成12年)12月 ISO9001 認証登録
- 2003年(平成15年)6月 河野純一 代表取締役に就任
- 2004年(平成16年)8月 有限会社石狩地工 解散
- 2006年(平成18年)3月 株式会社朔ボーリング 解散
  - 同年3月 石狩作業センター 開設
- 2016年(平成28年)6月 関根幸博 代表取締役に就任
- 2022年(令和4年)12月 川崎地質株式会社グループに参入
- 2024年(令和6年)6月 渡辺均 代表取締役社長に就任



## 地球が仕事場。とは

上を見上げれば宇宙を見ることができますが、下を向いても地面の下は1cm先も見ることができません。私たちが住む地面の下に何があるのか興味ありませんか？地面が必ずしも安定したものではないことは地震や山崩れ、火山噴火などで明らかでしょう。安心して安全な社会を作るためには、私たちの仕事が必要不可欠です。



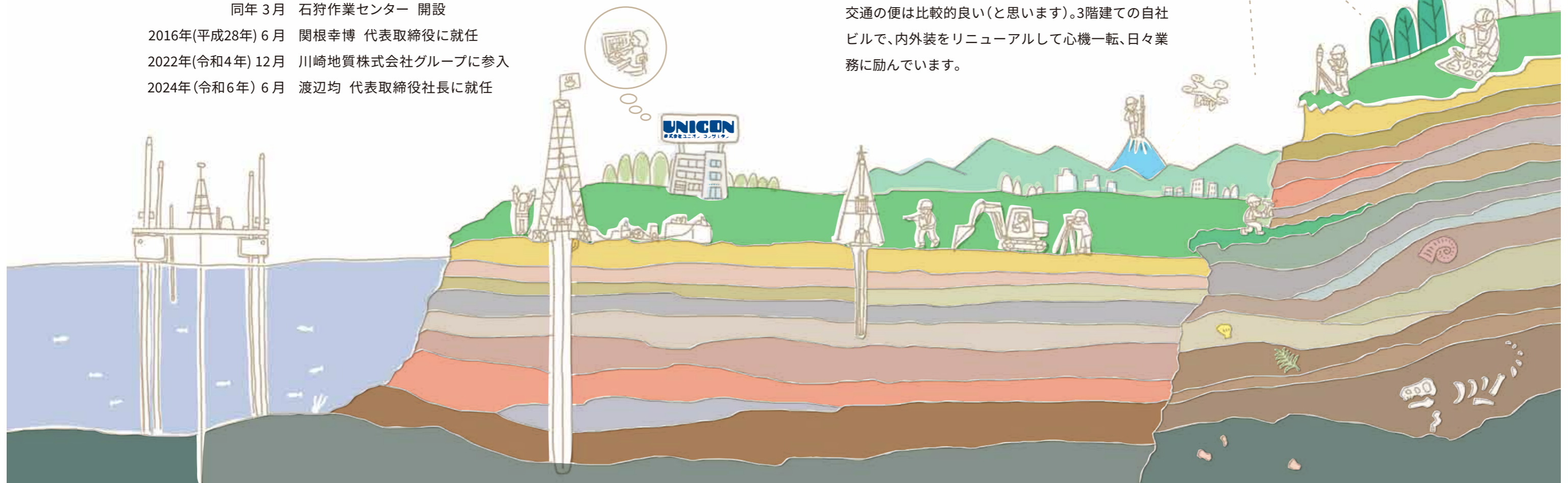
## 測量・調査・設計

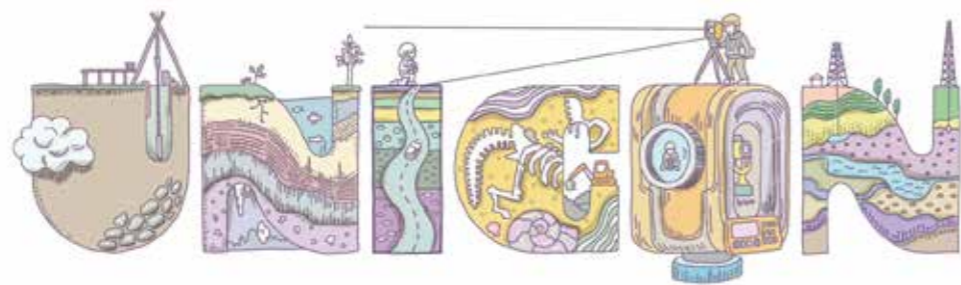
私たちの仕事は社会基盤整備を担います。地味な仕事かと問われれば地味ですし、決して楽な仕事ではありません。しかし、世の中に必要な仕事です。この会社案内を読んで、社会にあるさまざまな仕事の中から当社に関心を持っていただけたら、ぜひエントリーしてください！



## ユニコンについて

ユニオン・コンサルタント、通称ユニコン(UNICON)です。私たちの会社は地下鉄南北線の北の終点麻生駅およびJR学園都市線新琴似駅からいずれも徒歩6分で交通の便は比較的良い(と思います)。3階建ての自社ビルで、内外装をリニューアルして心機一転、日々業務に励んでいます。





## ユニコンな人々 / The Unicon crew

ユニコンは、経験豊富なベテランからフレッシュな若手まで多様な世代が集う活気あふれるチームです。風通しの良い社風のもとアイデアを共有し、互いの視点を尊重して成長を支えています。そんな仲間たちの声を通じて、ユニコンの空気感と、スタッフの仕事への想いを感じてください。



くわしくはwebサイトをご覧ください。  
公式webサイト <https://uniconcons.co.jp/>



2024年入社  
技術部 / K.I さん

一歩一歩前進中です

経験値を高め、資格取得も

この業界は、技術力と経験が鍵を握るフィールドであり、資格取得も重要なステップです。そのため、私は技術士の資格取得を目指し、日々学びを深めています。まだ若手ですが、仕事を通じてクライアントや協力会社、プロジェクト内の他社の方々など、多くの方々に関わる機会に恵まれています。スキルや経験も大切ですが、何よりも信頼関係の構築が欠かせないと実感しています。自己のスキルアップを追求しながら、チーム一丸となって目標達成の喜びを分かち合える、そんな仲間が増えたら嬉しいです。



2022年入社  
技術部 / R.K さん

それが仕事への誇りに

10年、50年と地図に刻む

測量は現地に赴くことが必要な仕事ですから出張もそれなりにあります。自分はオフィスでじっとしているよりも外で動いているのが好きなので、現在のペースはちょうどいい感じです。出張が多い仕事の場合、遅くに帰ってきてみんなが帰ってからコツコツとデスクワークを、みたいなイメージがあるのですが、そんなことはありません。きちんと働いて、きちんと休む、残業もそれほど多くはありません、ワークライフバランスはいい感じです。とはいえ現地調査はそれなりに過酷な場所もあつたりします、体力を維持に努めながら、キャリアを積み技術力を高めていきたいです。一緒に頑張ってくれる人を待っています！

他業界から転職という形でこの会社に入社させていただきましたが、先輩に丁寧にご指導いただき、ストレスなく仕事を覚えながらキャリアを積むことができ、ありがたく思っています。専門性を高めたいと考え建設業経理士の資格も取得、日々の業務を通じて自分自身をブラッシュアップしていきたいと前向きに取り組んでいます。建設業に限ったことではありませんが、特に受注金額の大きな案件や役所へ提出する書類など、正確さが求められる仕事には大きな責任が伴いますので、緊張感を持って取り組んでいます。業種柄、社内だけでなく協力会社など社外の方とも連携することが多いので、風通しの良い環境をつくり、コミュニケーションを大切にしています。

安心してキャリアを積める

異業種からの転職でも



2007年入社  
総務部 / Y.T さん



2018年入社  
営業部 / T.M さん

チームユニコンの底力に

営業力で技術を支える

営業という仕事には特別な資格が必要ありませんが、業界についての知見を深めようと建設経理士を取得しました。どんな仕事にもいえますが、さまざまな知識を学び経験値を高めることによって「センス」のようなものが生まれてきます。ここには頑張る気持ちを熟成させてくれる良い職場環境があります。事務、営業、そして技術、それぞれのチームがそれぞれの分野でスキルを高め、たくさんプロジェクトを受注し貢献していきたいです。この業界は、ちゃんと働き、きちんと休む、ライフワークバランスが整っていますので、一緒に頑張っていきましょう。

この業界はDX化の波が押し寄せ、変化のスピードが加速しています。解析ソフトを駆使し短時間で解を導ける時代にも、やはり基本的な理解が必要です。経験を積み重ねることで、数値の違和感を事前に察知し防ぐ力を養うことができます。地質調査は一見地味で地道な仕事かもしれませんが、その数字の奥には、地球の壮大な姿があります。自然を相手にするこの仕事に「正解」はありません。常に柔軟に、臨機応変に「最適解」を追求する姿勢が求められます。技術者として正確性を追求するのは当然ですが、何よりも大切なのは人との「対話」です。心を通わせ、チーム一丸となって、地球の未来を守る使命に情熱を注いでいきましょう！

数値からロマンを感じたい

根っからの技術者です



2024年社長就任  
渡辺 均 / Hitoshi Watanabe

# UNICON LIFE

～ユニコンな日々のひとコマ～

そろそろ会社でインスタのアカウントを取得しようかと悩みながら、まだ始められていません。インスタの練習もかねて、ちょっと社内外活動の写真を集めてみました、そろそろ界隈のグルメ情報を集めようかなと思う今日このごろです。



ユニオン・コンサルタントは2023年に50周年を迎えました～！記念講演会では、研究機関や大学の先生からありがたい知見をいただきました。



恒例の技術検討会を行いました。技術検討会は1990年に始まり今年で36回目になります！日頃の業務だけでなくこういった意見交換は大切。



めちゃめちゃ真剣な表情ですね～。これは全地連技術フォーラム発表でのひとコマ。毎年開催場所を変えて全国で情報交換や技術向上、若手育成のために開催されています。



ボランティア活動の植樹の様子です。社会インフラ整備で「開発」を行うことも多面から、緑化などのボランティアなども会社の大切な取り組みの一つ、仕事場である地球を大切に。



社内懇親会の様子です。たまには事務所以外のコミュニケーションも大事ですよ。飲みにケションなんて駄洒落をいう上司もめっきり減りましたw



社内懇親会その2  
おっと若手技術者が別のテーブルでひそひそ話をしていました。どんな話をしていたのかあとでちょっと確認してみようと思いますw

## UNICON 恒例・屋上バーベキュー大会

大会といっても競うわけではありません、美味しくいただくだけの焼肉パーティーです。当社のビルの屋上で心ゆくまで焼いて焼いて焼きまくります！現場が増える夏場になると参加者が減るので、いつも日程を決めるのが悩ましいところさて今年はいつにしようか検討を始めます！

(グループ会社の川崎地質(株)さんと合同で開催しています。)



屋上なので煙を気にせず焼き放題！



インスタの自撮り風にトライ